

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和3年8月27日
タイトル	第2地区の圃場にブロッコリーが「こんにちは」
水土里レポーター名	長崎県山田原第2土地改良区 力野和久

涼しげな風とともにつくつく法師の声が聞こえて来る季節となり山田原第2地区におきましては秋作の野菜の植付時期を迎えました。昼間はまだまだ日差しが強いため朝早くと、夕方からの作業となります。綺麗に耕耘された圃場に畦を上げそこに肥料を播き、その横では準備が出来た畦から順に機械で植付けを行っていきます。

広い圃場になり畝上げ、肥料播き、定植と一度に作業が出来るようになりました。

今までは、狭い道路と湾曲した圃場のため大型機械も入らず手動の簡易機械で植付したりして効率の悪い作業が続きました。今では、女性の方も乗用植付機に乗り作業をしています。夏の植付には、給水栓から散水チューブを通して霧のように畑一面に水が散水されます。約3か月もすると収穫に入ります。この作業を来年の6月まで繰替えしおこなっていきます。

【連絡先：0957-38-6266】



【肥料をまきと畦上げを同時に行いすぐに植付をします。】



【圃場が広くなったので私にもできます。】



【植付が完了した圃場】



【早く活着するように散水を行います。】